

第29回 町田市景観審議会 会議録要旨

| | |
|-----|---|
| 日 時 | 2018年8月17日(金) 午後2時00分～午後3時30分 |
| 場 所 | 町田市役所2階 2-2会議室 |
| 出席者 | <p><委員> (敬称略)</p> <p>鈴木伸治、田口敦子、名和田是彦、二井昭佳、天野真、佐藤正志、角田憲一、高橋清人、小川正彦、渥美益明、平川由紀 (9名)</p> <p><事務局> 萩野都市整備担当部長、地区街づくり課職員 (6名)</p> |
| 傍聴者 | 0名 |

- 会議内容
- あいさつ
 - 会議の成立 (定数確認・欠席者の報告)、会議の公開に関する報告 (傍聴者報告)
 - 調査・審議事項
 - ・議題18-01号 「町田市公共事業景観形成指針」2019年度各課事業の協議フローの振り分けについて

- 配布資料
- 次第
 - 「町田市公共事業景観形成指針」2019年度各課事業の協議の振り分けについて

■議事

- あいさつ
- 町田市景観審議会規則第6条第2項の規定による会議の成立に関する報告 (過半数以上の出席により、会議の開催について成立)
- 「町田市審議会等の会議の公開に関する条例」第3条の規定による会議の公開に関する報告 (傍聴者なし)
- 付議事項
 - ・議題18-01号 「公共事業景観形成指針」の各課事業におけるフローの振り分けについて

【会長】 ただいまのご説明についてご意見、ご質問等ありましたら、よろしくお願ひします。

【委員】 三輪緑山の子どもクラブ整備事業は、Bフローにしたほうがよい。過去の子どものクラブの協議で外壁の色彩を検討し、また敷地地盤面を下げ、交差点の見通しが良くなる効果が出ていた。子どもの居場所は、まちの魅力にとって影響が大きいので、これからワークショップなどを開催する中で色彩や外構の問題が出てきたりすれば、相談する必要がある。

【委員】 この子どもクラブは、学校の一部を使うのか。

【事務局】 旧学校予定敷地だったところであり、現在グラウンドとして使われていて、更地の状態である。

【委員】 学校の一部であるならAフローでいいかと思ったが、違うのなら子どもの施設なのでBフローにしたほうがよい。

また、CフローであるJR町田駅南地区再整備事業は県境でもあり、整備が難しいところ

で大変期待される事業である。景観の観点からもCフローでいいと思う。

【委員】 JR町田駅南口は、非常に大事で長期的なプロジェクトである。景観面で考えても町田の顔、駅前の顔をつくる事業になる。このような事業に対する景観審議会としてのかかわり方というのは、期間の長い事業であるだけに難しいところもあるが、早期から関わっていったほうがよい。

【会長】 基本的にはCフローになると思うが、まだ地権者間の合意形成ができていない状況なのか。

【事務局】 そうである。今年度行う委託業務自体も市の業務としてまちづくりを進めるために行う。権利者とは別のフェーズで考えているが、当然、市が勝手につくるのではなく、地権者の意見を聞きながらつくるといふものを想定している。

【会長】 南町田の場合は、審議会の中でも報告をしていただいて、各委員からも意見を出していただいたという経緯があるが、今想定しているCフローというのは、基本的にはアドバイザーが協議に参入するレベルのものか。

【事務局】 現段階だとイメージ案のまとめのところで、景観の大もとの考え方というのをあらかじめ決めておきたい。そこでアドバイザーにご意見を景観協議という形で伺いながら盛り込んでいきたいと考えている。

【会長】 実際の方針を決める段階と、より具体的に決める段階があり、具体的に決める段階のときには審議会として意見を出していくということを想定しているか。

【事務局】 今後の地権者とのかかわり方もあるため、審議会に諮る、諮らないも含めて、これから調整をしていきたいと考えている。

【会長】 子どもクラブ整備事業はBフローにしたほうがいいのかという意見についてはどうか。

【委員】 Bフローのほうがいいのかではないか。

【会長】 視認性の高い角地のところに計画されている。

【事務局】 道路沿いからすぐ見えるところになる。

【会長】 延べ400㎡はそこそこ大きい。

【事務局】 過去の「子どもクラブきそっち」と同程度の大きさを想定している。規模、具体的な形状なども含めて今検討している。

【委員】 子どもクラブ整備事業は、Bフローにすることに賛成する。今年度設計になっているが、もう発注されたか。

【事務局】 設計自体は、まだ始まっていない。その前に事前のワークショップを開いて市民の方、住民の方々から意見を伺って、その整理を行っている。

【会長】 既に、ワークショップは始まっているのか。

【事務局】 7月に一度開催され、その後も何度か行う予定である。工事が始まる前までに何度かワークショップも挟みながら設計を進めていくというような流れになっている。

【会長】 では、案としてはまだ固まっている段階ではないのか。

【事務局】 そうである。

【委員】 設計の段階でワークショップをやらないにしても、その前段階だと思っていいいのか。

【会長】 1回、意見の集約みたいなものはやっているのか。

【事務局】 やっている。

【委員】 三輪緑山という緑あふれる環境の中の子どもクラブであり、ぜひBフローにさせていただきたい。

- 【委員】 Bフローがいいと思う。
- 【会長】 では、子どもクラブ整備事業については、AフローからBフローに変更で提案したい。
- 【委員】 道路案内板・サイン設置事業は、サインを置くならば、周りの修景も少し検討したほうがいいのではないか。
- 【委員】 車で走っている時には、看板を頼りに運転をするため、機能的には必要となるが、道を案内する看板に代わるものが必要になってくる。
- 【委員】 過去のCフロー事業は、事業スケジュールどおり進んでいるかどうか。実際昨年度一昨年度決めたCフローは今どういう状態にあるのか。Cフロー事業だけでも、新規事業とは別に進捗状況を報告してほしい。
- 例えば鶴川駅整備事業は、事業スケジュール的に何か年にもわたっているものだと思うが、新たな何かが発生しているのか。今の仕組みだとなかなかわかりにくい。
- 【事務局】 今後、ご報告等できるような形で検討する。
- 【会長】 フロー振り分けについては、子どもクラブ整備事業をAフローからBフローに変更するという点について異議はない。
- CフローのJR町田駅南口については、これから検討が始まるので、もし何かご意見があればいかがか。
- 【委員】 南口については、昔から、アンタッチャブルなエリアで、子どもはそちら側に入ってはいけないというところがあった。ここ5～6年、行政が非常に前向きに取り組んでいるが、南口というと不動産の価格も違い、相模原エリアで「町田ではない。東京ではない。」という認識がある。長い歴史を払拭しながら、いろいろな意味で雰囲気づくりも含めて地権者の人ときちんと話を進めることによって、町田が随分変わると思う。ただ、アクセスがいいからといって、南側に何もなければそれで終わってしまうし、北側が充実しているため何らかの呼び込むものをつくっていくのは大変に難しい。南側は、渋滞を緩和させる方策の1つとして駐車場を作り、その駐車場の建物の中に商業施設などが入り、そこからにぎわいが広がっていくのではないかという気がする。
- 駐車場の悩みは昔からあり、昔に比べれば緩和されているが、やはり町田は混むというイメージがある。実際に困っている人もいるので、南口の駐車場が出来るだけ良い形になってくれることは、本当に町田の発展に大きく寄与するのではないかと思う。
- 子どもクラブ整備については、三輪緑山は非常に自治会の方の意思が強く、自治会の方の中に非常に街づくりに一生懸命な方が多い地域である。子どもセンターをつくる際には、きちんとしたコンセプトのもとに、進めていったほうがいい。
- 【委員】 今のJR町田駅南口駐車場のところを高度利用するのは、市が主体でやるということか。これは、市費を投じてやるということなのか。あと、南側の市外に住んでいる者からしても、ここは立ち入りにくいところなので、やはりこういう検討の中で、例えば地下道みたいなそもそもイメージを悪くする要素が高いものをできるだけなくしていくという努力もしていくことが大事だと思う。
- 【会長】 市の関与の仕方についてはどうか。
- 【事務局】 今回の再開発事業は、民間の再開発組合が事業主体になる。ただ、権利者の1人としての市営駐車場を持っている町田市が入るため、駐車場の整備に対して市費は投入される。また、市街地再開発事業が準公共的な事業になるため、国庫補助と同等に市もお金を出すような仕

組みになる。

【委員】 補助金が前提ではあるが、保留床を処分して事業費に充てられて、ちゃんと事業としてペイするか。それだけのポテンシャルがこの地域にあるかどうか。例えば、新横浜駅で考えると、北口と南口が全く違う。南口側はほとんど何もない状態。町田駅南口は県境だが、調査などどのくらい進められているのか。

【事務局】 現在、デベロッパーヒアリングのような市場調査はやっている。駅の北側は、商業が集積しているが、今回の南側に関しては、同等の商業を持ってくるようなイメージはなく、やはり従前の土地、駅至近の住宅として支えられてきたところなので、メインは、住宅の再開発になると考えている。ただ、住宅の再開発だけだと非常につまらないものになるので、小さい商業だとか、いわゆる交流機能で人を呼び込むようなものというのを、模索しているところである。

【会長】 駅の南側の玄関口をつくるということで、事業性も大事ではあるが、それ以外に景観的にどういうまち並みをつくっていくのか、まちの玄関口のイメージをどうつくっていくのかということはすごく大事になってくると思う。そういう意味では、いろいろな形でアドバイザーが関与するだけではなく、折を見てぜひこの審議会の中でもご報告をいただいたほうがよい。

主な意見として、「子どもクラブ整備事業」については規模的にはAフローに振り分けられたが、新設ということ、それからワークショップを通じての設計プロセスを控えているということも鑑みて、こちらBフローという形で提案させていただきたいと思う。Cフローの町田駅南地区の再整備事業については、なるべく審議会に報告するなどのプロセスを考えていただきたい。この主に2つの意見を案とさせていただきたいと思うが、よろしいか。それでは事務局案について修正を加えた上で決とさせていただきたいと思う。

— 了 —